

企業建設委員会資料

令和元年 11 月 28 日

陳情第 21 号 「市バス 45 系統の存続・継続を求める陳情」について

交 通 局

## 陳情第 21 号 市バス 45 系統の存続・継続を求める陳情

### 1. 陳情の要旨

市バス 45 系統の運行を存続・継続すること

### 2. 市バス 45 系統の概要

#### (1) 運行経路 (別紙路線図参照)

(往路) 魚崎車庫前～魚崎南町 2 丁目～魚崎南町 5 丁目～魚崎西町 2 丁目～御影本町 3 丁目～御影本町 7 丁目～御影本町 8 丁目～阪神御影南口 (4.26km)

(復路) 阪神御影南口～御影本町 8 丁目～御影本町 7 丁目～御影本町 5 丁目～魚崎西町 2 丁目～魚崎南町 5 丁目～魚崎南町 3 丁目～魚崎南町 2 丁目～魚崎車庫前 (4.67km)

※魚崎車庫前から魚崎南町 2 丁目・3 丁目・5 丁目、魚崎西町 2 丁目、御影本町 3 丁目 (御影本町 5 丁目) まで路線を延伸

【参考：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月】

(往路) 御影本町 3 丁目～御影本町 7 丁目～御影本町 8 丁目～阪神御影南口

(復路) 阪神御影南口～御影本町 8 丁目～御影本町 7 丁目～御影本町 5 丁目

※回送バスを利用

#### (2) 運行本数 8 往復 16 本 (平日・土日祝日)

(魚崎車庫前始発 9:39 終発 17:41、阪神御影南口始発 10:03 終発 18:05)

#### (3) 利用状況

##### ①営業実績

平成 27 年度 平均乗車数 12 人/日 営業係数 303 営業収支 △1,055 千円

平成 28 年度 平均乗車数 44 人/日 営業係数 903 営業収支 △19,138 千円

平成 29 年度 平均乗車数 50 人/日 営業係数 763 営業収支 △18,684 千円

平成 30 年度 平均乗車数 53 人/日 営業係数 809 営業収支 △20,617 千円

※営業係数：100 円の営業収入を得るのにどれぐらいの費用を要するかの指数

##### ②市バス交通調査 (OD 調査)

平成 28 年 10 月実施 57 人/日 (平均乗車数 3.6 人/便)

平成 30 年 10 月実施 57 人/日 (平均乗車数 3.6 人/便)

##### ③乗降調査 (令和元年 4 月 12 日及び 6 月 19 日の 2 日間で全便を調査)

総乗車数 57 人/日 (8 往復 16 便) 平均乗車数 3.6 人/便

最大乗車数 8 人/便

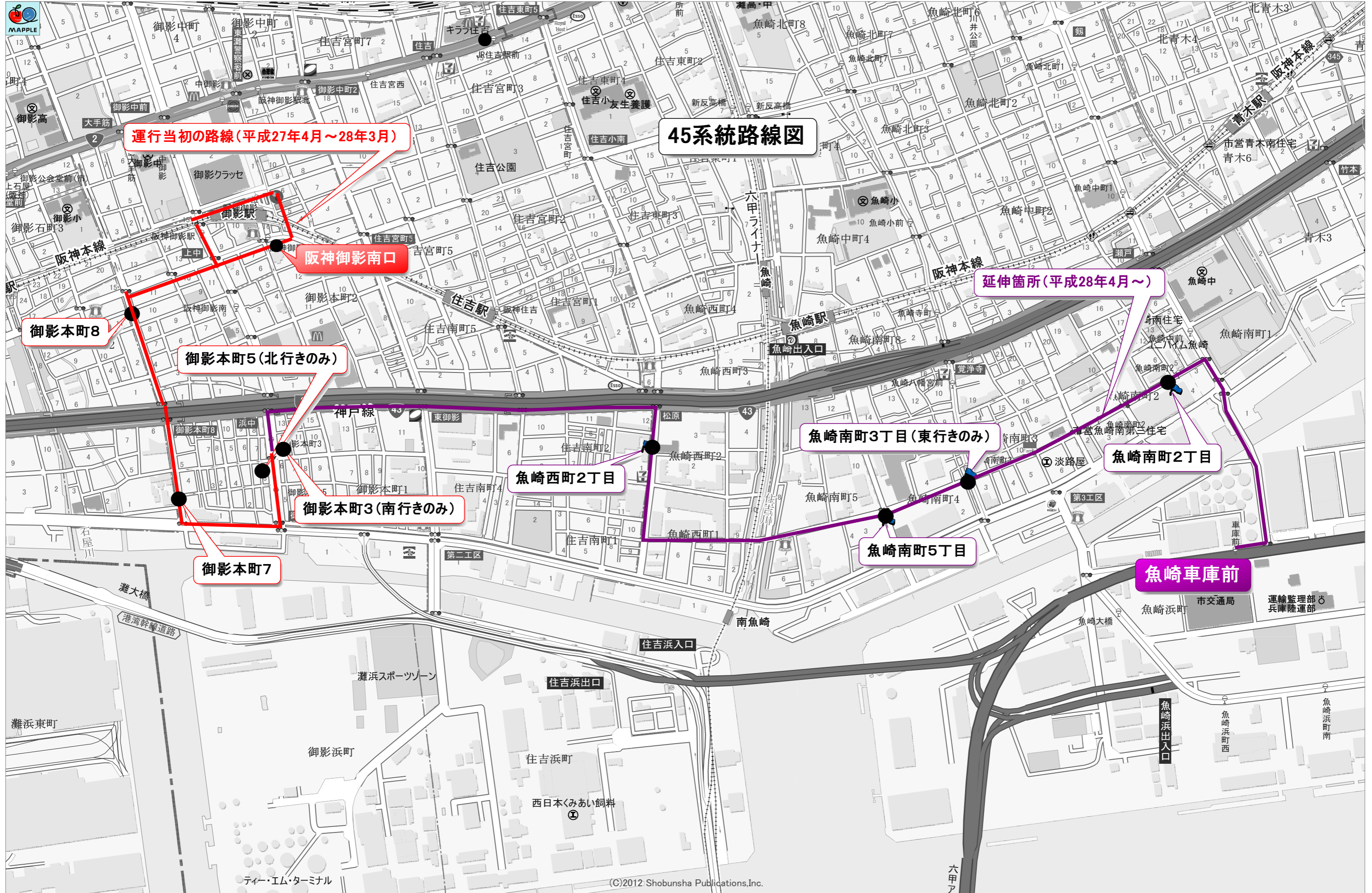
### 3. 交通局の見解

市バス 45 系統は、運行開始当初から現在まで利用者は少なく、営業係数は市バス全路線の中で最も悪い状態が継続している。

交通局では、このような状況を改善するため、平成 28 年 12 月から「45・103 系統で行く酒蔵めぐり」と題し、市内で広報を実施したほか、平成 30 年 12 月～31 年 1 月にかけて、チラシ 2,700 枚を地域団体の皆様のご協力を得て、45 系統のバス停周辺の住宅に配布するなど乗車促進策を実施した。しかし、乗客数は増えなかったため、路線廃止とすることとした。

令和元年 10 月 18 日に学識経験者や地域団体、行政機関等で構成される「神戸市地域公共交通会議」が開催され、45 系統の廃止について議論された結果、路線廃止で協議が整った。今後、国土交通省に廃止届出を行う予定である。

なお、小型バスは狭隘な道路がある路線に特化した車両であり、定員が少ないため運行効率が悪く、車両購入費用も大型バスに比べて特別安価というわけではないため、小型バスを使用しても 45 系統の存続は難しい。



1: 7,600 相当

地図上の1センチは約 76 メートル  
印刷中心は 東経 135度16分 0秒 北緯 34度42分 36秒